



編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター

電話：072-838-0400

URL <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>



ホームページ ツイッター インスタグラム FB

上記の QR コードを携帯電話やスマホ等から読み取ると、本会の各 SNS ページにつながります。

V活動への思いあれこれ 「感動」のおすそ分け

「ボランティア」に対するイメージは様々です。今回は「ボランティア」について、まちの声を集めてみました。

永年ボランティア活動をしている70歳代の男性からは「活動から得られた、人との繋がりや喜びは計り知れない。ぜひ若者にもボランティア活動の喜びや感動を体験してもらいたい」と。

「ボランティア」への思い～まちの声～

- 災害時だけ注目されるので普段どのような事が身近でできるか知りたいです
- 人の役にたつよろこび！
- 沢山の人の世話になって大人になって、周りの人、地域への恩返し。でも最終は自分のため
- 自分のできることとするお節介
- 人と人との思いやりと愛のつながり
- 自分自身を成長させてくれる！新しい自分を見つけられる！
- 興味のある内容で時間に余裕がなければなかなかできないことなのかな、と今は思います
- 私も一度やってみたいと思います

ボランティア知恵袋

ボランティア (volunteer) の語源は、ラテン語の「volo」(ウオロ、と読む)。これは、「自分から進んで～する」「喜んで～する」という意味があります。つまり、「自発性」がそのもっとも中心となる性格だということです。(日本Vコーディネーター協会

代表理事 筒井のり子さん談より抜粋)



「ボランティア」への思い ～自分のできることから～

新仁和寺 下浦由紀子さん

初めてのボランティア体験は子供が小学1年生になった年。「敬老の日」のサロンの時でした。子供たちと踊りや歌、楽器の演奏を一緒に発表し、活動の楽しさを知り参加するようになりました。

その都度地域の皆さんが温かく迎えてくださり、子供たちも皆さんに喜んでもらえることに楽しんで参加しています。

初めて参加した福祉活動から10数年、小学校での福祉体験学習・ひとり暮らしの方への配食活動、仕事をやりながらの活動参加、地域の皆さんの支えがあったからこそだと思えます。

ボランティアはこうでなければということではない。これからも感謝の気持ちをもって、自分のできることをお手伝いできればと思っています。

校区ボランティア部会紹介

部会の熱はもい！ 点野校区

私たちの校区は11地区(自治会)で構成されており、それぞれの地区が同じような活動ができません。そんな中でも校区V部会として、みんなで意見を出し合い、できることからしていこうということになり、まずは「高齢者の安否確認」からになりました。

今年の夏は例年になく暑く、その上、新型コロナウイルスという得体

の知れない魔物が世の中に居座り思うように集まることもできず、家の中にいる時間が多かったので、安否確認を兼ねて

『熱中症には気を付けてね』の一言を添えて、お水とお便りを一人ひとりに配りました。



例年している配食、会食は、今年ではできないけど「コロナ禍が収まれば、みんなで会食しましょうね」。楽しみに待ってもらっていることは、よくわかります。47人の部員と汗をかき、安否確認をする人も、される人も後期高齢者になっている中、お一人おひとりの笑顔を思いながらの日々の活動に、年を忘れてがんばれることに感謝をしています。(部会長 佐藤美恵子)

元気いっぱいのボランティア

Vセンター相談員

中村順市さん

ボランティアセンター相談員としての活動を始めて年になります。

昨年8月に相談員のお話をいただいた時には、自分にできるのか、ご迷惑をおかけすることにならないかなど、ずいぶんと悩みましたがお引き受けすることにしました。

「よく聞くこと、やってみること、よく考え、積極的に発言すること」を信条に日々活動しています。

これからは登録していただいているボランティアさんの活動や、その活動を必要とされている施設さんのことをもっと知りたいと思い、自粛回復の時には見学したいと思っています。その時にはよろしく願います。

温故知新

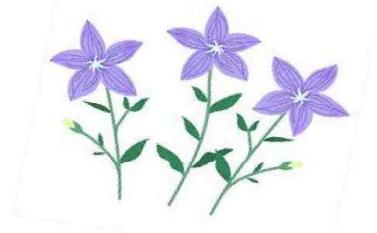
「通りがかったのでちょっと寄ってみました」と、ボランティアセンターがもっと皆さんの身近な存在になれるように、活発で元気のある場所にしていきたい、そして少しでも多くお役に立てるようにしていきたいと思っています。お気軽にお越しください。(本人談)



Vセンター担当職員と活動調整について打ち合わせ中の中村順市さん=ボランティアセンターで

見えてきた近年の活動状況

ボランティアセンター白書



当センターでは、ボランティア活動を希望される方に登録していただき、ボランティアを必要とする方からの依頼により、活動の需給調整をしています。毎回当欄で活動調整の実績を掲載しておりますが、本年

3月以降新型コロナウイルスの影響で活動がない状況です。

よって本号では過去にさかのぼって活動の傾向を数字にしてみました。

依頼内容は、歌、マジック、踊りなどが多く、次いで外出援助や施設などでの補助、催し援助、乳幼児の対応などです。

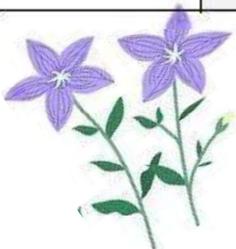
★依頼者は、高齢者施設からが約80%です。次いで乳幼児の9%、障害者施設からが5%となっています。

需給調整集計 2016年度～2019年度

依頼者数	対象	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	合計	比率
内訳	一般	10	1	7	9	27	4%
	高齢者	131	154	160	150	595	79%
	児童	5	1	5	1	12	2%
	障害者	10	14	8	2	34	5%
	生徒	1	4	2	2	9	1%
	乳幼児	26	29	7	5	67	9%
	幼児	8	1	1	0	10	1%
	計		191	204	190	169	754

※2019年度は2020年3月頃から活動自粛期間になりました

活動者数	対象	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	合計	比率
内訳	校区	43	40	89	81	253	26%
	団体	93	91	148	135	467	49%
	個人	56	72	52	57	237	25%
	計		192	203	289	273	957



活動者は、登録団体が約50%、校区と個人登録がそれぞれ25%となっています。

活動を月別で見ますと、毎月平均して依頼を受けておりますが、特に7月から11月と新年1月は比較的多い時期になります。

つながり ささえあう みんなの地域づくり

今年度も「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、歳末たすけあい運動がはじまります。この運動は、自治会や民生委員・児童委員などで構成される校区福祉委員会、関係機関や団体の協力を得て、戸別募金、事業所募金、街頭募

金に取り組みます。ご協力いただいた募金は、地域での福祉活動に取り組む団体やグループなどに配分します。みなさまのあたたかいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

【実施期間】令和2年12月1日～15日

「歳末たすけあい運動」の配分金を受けて、活動を続ける2団体（Vセンター登録）紹介

とんかちクラブ

「とんかちクラブ」は日曜大工が好きな人、仕事で経験がある人たちのボランティアグループです。高齢等で日曜大工仕事に困難を抱える方のお役に立てるよう活動しています。

代表の今岡さんは60歳の時に鉄道会社を退職し10年ほどご家族の介護を。ボランティア活動のきっかけは、介護保険の無い時代にいろいろな人に助けてもらったことからだそうです。「高齢の人から、詐欺まがいの不要な工事に高額な請求をされた話を見聞

きすることもあります。困っている人の手助けをしたい！そして自身の介護予防にもなれば」と元気にお話くださいました。

※「とんかちクラブ」のご利用は条件があります。お問い合わせは
地域福祉課 ☎838-0400 まで



高齢者宅の障子貼り替え作業Ⅱ以前のVセンターで

うきうきわくわく音心の会

音楽療法で子どもから高齢者まで元気に！

【音楽療法】は、「音楽を楽しみながら身体機能の衰えを防いだり、よい状態を維持・強化できたり、心の癒しにもなるんですよ」と代表の音楽療法士平林さん。

車にたくさんのお楽器等を積み込み、寝屋川市や近隣5市の施設・病院など定期訪問15か所に加え、要望があれば自治会や施設などに『音楽』を10

余人の仲間で届けている。

ボランティアを続ける『元気の素』は毎月の定期訪問で「あんた誰や」と言われた認知症の人が、童謡や唱歌、懐メロを歌う、楽器をならす、手や足、身体全体を動かすことで表情や気持ちが変わる姿を見たり「今度いつ来てくれるんや」の声がうれしくて【やりがい】【生きがい】を感じているとのこと。

コロナ禍ではあるが、月に3、4か所の施設から依頼があり、訪問先の要望に応じてコロナ対策をとりながら活動している。と話してくださいました。